

見直すべき「生徒心得」の意見と変更事項

【多かった意見】

- 現状維持でよい。
- 学校や生徒の意見をふまえ、それぞれを尊重した規律やルールであるべき。
- 生徒たちがルールに対する理由を納得できるものであるべき。
- 社会に出たときに役立つルール。集団を高められる規律やルール。
- 「この規則を変えたい」「増やしたい」という声があれば、相談してよりよいものにしていく。
- 今自分たちが生きている社会では何が大切で、そのためには何が必要か、一人一人が考えていかなければならないと思う。

【検討事項】

- 1 アルバイトについて・・・特別な理由がなくてもいいと思う。許可制にせず自由がいい。
- 2 服装について・・・男子のセーターを認めてほしい。
- 3 「男女交際」という文言について・・・交際は男女だけではないと思う。
- 4 メイクについて・・・メイクは社会に出て必要である。コンプレックスを隠すため認めてほしい。

【今後の対応および変更点】

1 アルバイトについて

現在「原則として禁止する。ただし、特別な理由がある場合は、担任に申し出て、校長の許可を得る。」となっている。あくまで学業を最優先してほしいという思いから定めていることである。今年度はさらに本人と教頭先生・生徒指導の先生、校長先生が面談することで、経済的理由など特別な理由があると判断する場合、関係する先生方と慎重に話し合い、許可を出している。ただし、あくまで高校生の本分は学業であるので、許可後も学業に差し障りがあると判断した場合や、著しく生活態度が乱れた場合は許可を取り消すことがある。

2 服装について

男子のセーターについては、販売業者との調整なども必要であるため、さらに男子生徒の意向やセーターの着用基準の見直しを検討する必要があるため、これらを調整・検討した上で来年度より着用できるよう規定の変更を検討していく。

3 「男女交際」という文言について

この文言については教員側が気づかなかった点である。生徒の感性で新たな視点を与えてもらった。早速「交友関係」と変更したい。また、他に気づいた点があれば教えてほしい。

4 メイクについて

例えば顔に傷がありメイクをすることによりコンプレックスを隠すことができるという意見については納得できる。そのような場合は個別に対応する必要があると考える。しかし現状では、休日の服装や頭髪等についてはおしゃれとして個人の自由であると考え、平日学校に登校する場合については、生徒の思い、卒業生や地域の方、保護者の期待する姿など総合的に考える必要があると思っており、現時点では時期尚早(しょうそう)であると考え。生徒の皆さんにはしっかり内面を磨いてもらい、それぞれ自分自身に自信が持てるような教育活動を行っていきたいと考える。少数であるがこのような意見があることはしっかり受け止めたい。